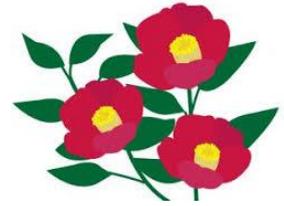




～思いやり、認め合おう～



御幸中学校 1年学年だより
2021/1/18 第19号

校内書初め大会がありました

令和2年度3学期が始まって1日目に書初め大会がありました。どの生徒もみんな1枚書き上げるために全神経を集中させ、1時間半くらいの時間、真剣に書半紙に向き合いました。見事な作品がたくさんあり、審査するのが大変でしたが、以下に受賞者を掲載します。

	1年A組	1年B組
金賞	M・S	N・A
銀賞	O・Y S・K	M・Y H・R
銅賞	I・A H・H O・Y	H・S K・C M・T

書初めについて

書初めの起源は平安時代の宮中行事である。江戸時代に寺子屋の普及により、一部の庶民にも広がった。明治時代からは、義務教育で書道教育が行われるようになり、書初めも広く普及するようになった。昔は、現在と風習も異なっており、「元日の朝に初めて汲んだ水（若水という）で墨をすり、新年の恵方の方角に向かって詩歌を書く」というものだった。

書初めを行う意味には二つある。

- ・1年間の抱負や目標を書くことで実現への意思を強めたり、行動を改めようとするもの
- ・字の上達を祈願するもの（1月中旬に神社やお寺などで行われる『左義長』という火祭りで書初めを燃やし、その炎が高く上がると字が上達するといういわれがある）



